

岩屋中だより

令和6年8月29日 NO12

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

2学期を迎えるにあたって大切なことは、 プラス思考＝『笑顔＋（プラス）』＝『幸せ＋（プラス）』

2学期を迎えるにあたって

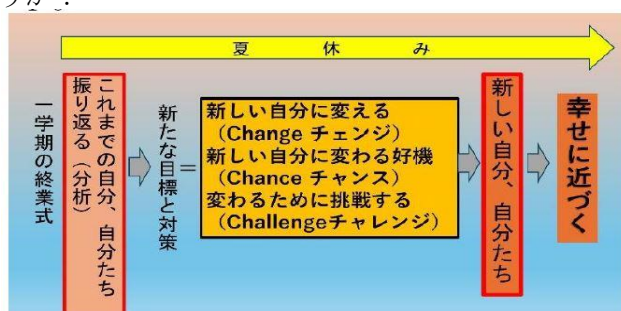
長い夏休みがまもなく終わります。皆さんにとって、どのような夏休みだったでしょうか。この通信の配信時は、台風接近の真っただ中でしょう。被害等が出ないことを願います。

今年の夏は、昨年以上に大変暑く、吸っている空気が熱く感じられた夏でした。毎日のニュースの中で、『危険な暑さ』という言葉がよく聞かれるようになった今年の夏でした。

また、皆さんもきっとびっくりしたのではないのでしょうか？携帯電話から鳴り響いた『大地震です。』というメッセージ。ついに南海トラフ地震がきたか。．．．．．どうしよう、どうなるの？という思いが、瞬時に浮かび、どうすることもできそうにない自分自身が情けなく感じました。

さて、生徒の皆さんは、この夏休みをどのように過ごしたのでしょうか？「頑張った」自己評価できる人もいれば、「頑張れなかった．．．」と少し自己評価で反省をする人もいます。前者であっても、後者であっても、長い夏休みが終わって、通常的生活に戻ることは明らかです。そのは、どれにとっても、大変、憂鬱（ゆううつ）なものです。「あーあーまた始まるな」と重苦しい気持ちになるのは、大人も子どもいっしょです。

夏休みを迎えるにあたって、次のスライドを終業式の日を示したと思います。覚えているでしょうか？



1学期と2学期の間のインターバル。これが夏休みでしたが、それは、新しい自分に変える（Change）、新しい自分の変わる好機（Chance）、変わるために挑戦する（Challenge）について述べました。この3つの中のどれかでも少しできたならば、それは新しい自分に近づく大きな一歩になります。

さて、次のスライドも示しました。一番大切なことは、「新学期に、明るく、元気な笑顔を見せる」です。2学期が始まることで、重苦しい気持ちになったり、嫌だなと思うのは当然です。課題が．．．とか、終わったテストが返却されるとか．．．．．授業がとか．．．．．いろいろ考えることでしょう。しかし、始まってしまうのですから、気持ちの切り替えをする方が得策です。「いろいろ言っても仕方ない。頑張るしかない」と前向きに考えることの方がベターです。夏休みに達成できなかったということがあれば、それに挑戦する2学期であれば、夏休みの反省は次に生かされるわけです。

新学期に、明るく、元気な笑顔を見せること

「してはいけないことは、したくてもしてはいけない。」
「しなければならないことは、したくなくてもしなければならない。」

頑張れる自分、反省する自分、反省できない自分、反省を生かす自分、いろいろありますが、どれも、それは、あなたです。そのあなたが、あなたらしく前進・成長していくところがあなたの人生です。その人生を自分なりに変えていこうとする気持ちは、だれにでもあって、それは大変大切な気持ちです。それを実現する良い方法が、『プラス思考』です。『笑顔』です。ネガティブな『できない理由』であったり、『悪口』であったりが自分を支配してしまうと、不思議なことにこちらに力が向いてしまいます。前向きな思考、そして、できなかったならばなぜできなかったかを振り返るための『自分を見つめるベクトル（力の向き）』を大切にしてほしいものです。